

人を育てる支援



島根県学校司書・司書教諭合同研修会

「気軽に利用でき、生徒の力が育つ学校図書館へ！」

とき：9月22日（金）14時～16時 場所：出雲合同庁舎

講師：島根県教育センター指導主事（浜田教育センター） 遠藤由紀さん
 邑南町立石見中学校司書 大隅裕子さん

概要：子どもたちに身につけてもらいたい力（主体的に課題を見つけ、様々な他者と協働しながら、定まった答えのない課題に粘り強く向かっていく力）を育てるうえでも、学校図書館の役割は期待されています。

教員や子どもたちに気軽に学校図書館を使ってもらうための実践例を紹介されました。いろいろな教科において、積み重ねが大切であることを伝えられました。

★学校図書館は学習や人がつながっていく場です。

★いろいろな教科で気軽に図書館を使いましょう。（教科横断的な授業も）

★積み上げていくことで限られた時間で効果的な学習が生まれます。



学校司書・読書ヘルパー研修

学校図書館関係者の研修はカリキュラムにより実施しています

この研修を受け、校内研修を実施した学校もありました

学校司書

基本研修

著作権の仕組みと教育現場における著作権
講師 石井 大輔氏（島根県立大学短期大学部松江キャンパス総合文化学科准教授）

とき 5月26日（金）13:30～15:30
法の目的をしっかりと理解し、守っていることで、既存の優れた知的創造物を利用できることを学んだ研修会でした。

まずは著作権法の目的や意義をよく理解することが実際のケースの対応へ繋がるのです。

読書ヘルパー

学校図書館の紹介（映像）情報交換

とき 5月12日（金）10:15～、14:00～
学校図書館サポート訪問から得た情報を元に数校の学校図書館を映像紹介（説明を添えて）しました。

また、普段の悩みなどを語ることで活動への幅を持ってもらえるよう、情報交換の時間も設けました。



島根県学校司書特別研修会 「子どもが主体的に学ぶための授業改善」

とき：8月4日（金）10時～12時 場所：松江合同庁舎

講師は出雲市にも毎年講演していただいている塩谷京子氏（放送大学客員准教授・関西大学非常勤講師）、概要は次のとおりです。

各教科において、ねらいと活動（子どもの主体性を重視した）があった授業デザインができると、学校図書館が上手く活用できます。この時間は学校図書館を使いたい！と思ったときに使えるようになっていきます。

また、とにかく学校図書館を活用しなければと考える前に、何の教科も一様に図書館で調べるよりも教科横断的視点で活用し、子どもの学びが深まっているかを見極めながら日々の授業の積み重ねをしていくことが大切です。



実務研修

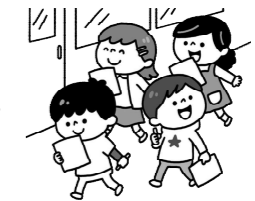
POP講習 7月24日（月）14:00～ 指導 今井書店職員 *合同実施

「自分にはセンスがない（誰もそう思い込んでいますが）、難しい」という観念が払拭できた講習会でした。豊富な事例とつくりかたのヒントが学べ、学校図書館で役にたっています。参考資料の残部がいくらかあります。欲しい方は連絡してください。

読書活動支援研修

講演「学校での読書活動」12月1日（金）14:00～ 講師 大谷直美氏 *合同実施

学校での朝の読み聞かせや学校図書館への支援を続けてこられた講師から、子どもの成長段階に応じた活動の実践やエピソードを紹介していただきました。講演後、グループでの情報交換をし、お互いの活動や課題に共感したり、相談し合う場も持ちました。



島根県学校司書研修会 「学校図書館の展示を仕掛ける～展示は見せるレファレンス」

とき：5月23日（火）10時～15時 場所：くにびきメッセ

講師：小畑信夫氏（図書館・メディア研究所代表）

概要：全国2千の図書館の展示を見てきた講師が、「展示はレファレンス」という観念を基に「資料群へのアクセスの仕方」を講習されました。

📖 図書館は、選書した資料に興味をもってもらえるよう努めること。

📖 「図書館だより」「POP」「展示」の三位一体活動を実践すること。

資料配布はできませんが、見てもらうことはできます。

あとがき

また、今年も出会いと別れの季節になりました。毎年この時期に思うことですが、子どもたちに「学校図書館」が楽しく、わくわくした場所として思い出に残してあげられたでしょうか。何年後かに聞いてみたいですね。来年度も出雲市学校図書館支援センターとして、これまでのノウハウを生かし、学校からの相談や依頼に添えていけるよう努めていきたいと考えています。そのためにも、各学校からの情報をいただくこと、ちょっとお邪魔させていただくことも必要ですので、ご協力をお願いします。

